

科目名		授業形態	担当教員名	
神経眼科Ⅱ		講義	谷口 誠典	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間（ 1 単位）		15 回	2 年次	後期
授業の目的・概要				
核・核下性疾患、核上性疾患、眼振について、脳神経の走行や血管などできるだけ多くのイラストを描きながら、複雑な神経や血管の走行をわかりやすく解説し病態生理を説明します。				
授業の到達目標				
①各単元ごとに配布する練習問題で要点を理解できる。 ②国家試験過去問題を解くことができ、国家試験問題の出題傾向を掴む。				
授業計画				
回	内容			
1	重症筋無力症、慢性進行性外眼筋麻痺			
2	斜視特殊型（Duane症候群、Brown症候群、固定斜視）			
3	斜視特殊型（眼窩底骨折、sagging eye syndrome、generalfibrosis syndrome）			
4	眼瞼・顔面表情筋の障害（眼瞼けいれん、マークスガン症候群）、自律神経、脱神経過敏性の獲得、light-near dissociation			
5	瞳孔疾患（Horner症候群、瞳孔緊張症）			
6	瞳孔疾患（動眼神経麻痺、Argyll Robertson症候群、その他）			
7	眼球運動の種類、PPRF症候群、MLF症候群、One and a half症候群			
8	Parinaud症候群、double elevator palsy			
9	輻輳、開散の障害			
10	眼振、波形分類、生理的眼振			
11	先天眼振と治療（非観血療法）、潜伏眼振			
12	眼振阻止症候群			
13	後天眼振、眼振の記載、非眼振性異常眼球運動、眼振まとめ			
14	総まとめのプリント①（一問一答、国試過去問40～47回）			
15	総まとめのプリント②（国試過去問）			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載	分野ごとに小テストを実施するが、評価には含まない。自己理解度を確認するために実施する。			
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
視能学 第3版		小林義治 他編	文光堂	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				